

今後の観光への取り組みについて

町長 平常時に近い状態で開催できるよう、環境整備に
取り組みたい



録画を配信

観光の方針

問 今後どのような方針で観光に取り組みたいのか。

町長 引き続き感染防止対策に細心の注意を払い、ロングラン開催など含め、各イベントを可能な限り平常時に近い状態で開催できるよう、環境整備に取り組みたい。

新たな観光資源

問 観光に文化財資源を活用する計画だが、どのような方針か。

町長 指定文化財、アウトドア、紅花など数々の資源を、新たな観光資源として磨き上げたい。

商工観光課長

文化財の活用は、教育委員会とも連携しながら、計画期間内に何らかの形で取り組めるよう検討したい。

文化財の周遊観光

問 白鷹町の文化財を見てほしいという声をいただいた。あゆみやあゆみしるなどを観光拠点施設として進めてはどうか。

商工観光課長

以前の寺社巡りマップなどと共に、周遊ルートなど検討したい。
町長 文化は幅が広く、具体的に対象を決めることが必要。身近なものを掘り起こして磨き

上げることに、もう少し力を入れたい。

文化財の調査活用

問 文化財の調査活用に關して、山形県では文化財保存活用大綱を令和4年3月に策定した。文化財保存活用地域計画の策定に向けて町の方針は。

教育次長

大綱には、市町村による文化財保存活用地域計画の作成の推進について盛り込まれている。中長期的な視点で検討したい。

観光資源の磨き上げとは

問 観光資源の磨き上げとはどういう活動を指すのか。

町長 単品で磨き上げるのではなく、線で結び、面で受け入れることが一番大切と思う。

商工観光課長

民間団体、町民の皆様との連携も必要であ



観光への活用が期待される文化的資源(瑞龍院)

る。それらを結びつけるために、行政による広報あるいは施策の展開も必要と思う。

情報戦略

問 誘客促進にあたり情報発信は重要である。どのような方針か。

町長 これまでの取り組みと併せて、さらなる情報発信が必要と認識している。未来につ

ながる持続可能な観光を目指したい。
問 情報が集まる仕組みを検討するべきではないか。

商工観光課長

関係する方々に情報をいただきながら発信する必要があると考えている。今後どういった仕組みづくりができるかも含めて検討したい。

横山和浩 議員

